



八代市教育サポートセンター
子ども支援相談室便り
令和5年 4月号
文責 江藤紀子

新たな学年がスタートしました
入学、進級、おめでとうございます



新しい環境に早々に慣れ、毎朝元気いっぱいに登校する子供もいれば、慣れるのに時間がかかり、不安げに登校している子供もいると思います。

新しい環境からくる刺激の感じ方は、子供一人一人違って当たり前なので、他の子供たちや自分の子供時代と比較して不安を抱かなくても大丈夫です。

「繊細な気質」をもつ子供は、5人に1人いると言われています。用心深いので適応に時間がかかりますが、繊細さや慎重さ、確実さなどのよさがあるので、よさを認めながら「自分のペースで慎重に進めているんだね。」「丁寧に頑張ってるんだね。」という気持ちで見守ってあげましょう。

待つだけではなく、何らかの対応が必要な場合もありますが、そういうときは、子供は自ら信頼する人に「不安のサイン」を発信してきます。

よく見られるサインは、登校時に元気がなくなる、体調不良を訴える、泣く、かたまる等です。

様子がおかしいなと感じたら、それは、子供から受け取っている大切なサインなので、そのサインをキャッチして、話をよく聴いてあげることが必要です。（問い詰めるのではなく、子供主体の話を関心をもって聴きます。）



「やつしろ子ども支援相談室」では、子供のサインをよみ、対応を考えるお手伝いをしています。子供の話を直接聴くこともしていますので、子育てや子供の登校について一人で悩まず、ご相談ください。

（裏面に案内があります）

「新学年、子供を自立させる整理整頓の仕組み」

スタート時に整理整頓を自分でできるように習慣づけることが大切です。そのためには、「仕組む」ことも必要です。

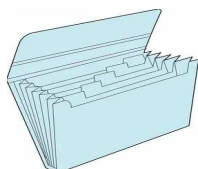
○学校のランドセルやかばんは、置くだけの収納が簡単で学校の準備もしやすいようです。



○学校からのプリントは、子供が置きやすい場所に「プリント入れ」の箱（ケース）を置いて、帰宅後すぐに入れる習慣をつけます。



○教科書、ノート、資料集、ドリル等は、教科ごとに色分けしたシールやテープを背表紙に貼るだけで、忘れ物が激減！



○取っておきたいテストやプリントは、じゃばらファイルを使って、教科ごとに収納すると整理が簡単です。



○鉛筆をなくしてしまう子供のためには、筆箱の鉛筆をさすところに番号シールを貼り、鉛筆にも同じように番号シールを貼ると、同じ番号のところに鉛筆を入れるようになり、「何番の鉛筆がないな」と探すようになり、整理上手になります。

参考資料 「子供が自立する仕組みづくり」 赤工友里

悩み相談(不登校など)

「やつしろ子ども支援相談室」は、不登校、子育てなどの相談を受けています。一人で悩まず、気軽に相談してください。

●電話、メール、来所による面談の3つの相談方法があります

①電話 0965-33-6145 (相談室直通)

②メール kodomo-sien@yatsushiro.jp

または、右のQRコードから

※メールの受信は、通常、翌朝9:00になります

③面談 やつしろ子ども支援相談室 (八代市役所4階)

●相談時間 月～金曜日 午前9時～午後2時



※本誌「おひさま」は、みなさんに寄り添い、子育てを応援したいという気持ちで「やつしろ子ども支援相談室」から毎月発行していきます。



